



日本プライマリ・ケア連合学会
北海道ブロック支部 活動報告

発行人：支部長 木村 眞司
事務局：北海道ブロック支部事務局
(松前町立松前病院事務局)
TEL:0139-42-2515 FAX:0139-42-2516
e-mail:hpca.jimukyoku@gmail.com

ニュースレター No. 8 (2014. 12)

文責 北海道ブロック支部長 木村眞司

1. 第2回北海道プライマリ・ケアフォーラムを開催しました
2. サイトビジットを行ないました
3. ポートフォリオ検討会を開催しました
4. 学生向け『北海道地域医療ウィンターキャンプ2015 in 朱鞠内』を来年の3月13-15日(金一日)に幌加内町の朱鞠内湖で開催します!
5. 幹事会を予定しています(2015年2月7日土曜日午後2時)
6. 来年の地方会は6月27日(土)です
7. 来年の北海道プライマリ・ケアフォーラムは11月28日(土)です
8. その他行った会議は
 幹部会：10月1日、15日、11月12日、19日、27日(いずれもウェブ会議)
 幹事会：11月22日(札幌)
 ウィンターキャンプ実行委員会：9月20日(同)
 地方会実行委員会：11月22日(同)

1. 第2回北海道プライマリ・ケアフォーラムを開催しました

(11月29日土曜日 札幌市 かでの2・7)

前身の北海道家庭医療フォーラム(NPO法人北海道プライマリ・ケアネットワーク主催)を引き継ぐ形で昨年からはまったフォーラム。実質的には通算7回目になります。主として学生・初期研修医を家庭医療・総合診療にいざなうのが目的です。今回の実行委員長は昨年と同じく上川医療センターの堀哲也先生(北海道ブロック支部幹事)が務めてくれました。学生・若手医師からなる実行委員の皆さんが

1年間にわたって準備を進め、今年も非常に充実したフォーラムとなりました。ワークショップ4つ、特別企画、カフェコーナー、メッセージの掲示、後期研修プログラムのポスター掲示、基調講演が行われました。基調講演は『地域で求められる家庭医になるには?』と題して理事の大橋博樹先生(多摩ファミリークリニック、神奈川県)が会場を沸かせて下さいました。

学生、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、行政の方々、病院の事務職員などなど、136名が参加し、充実したフォーラムとなりました。もっと多くの学生さんや初期研修医に来てもらうのが今後の課題です。



2. 第1回サイトビジットを行ないました

(11月28日金曜日 訪問先：手稲溪仁会家庭医療プログラム)

木佐健悟先生（倶知安厚生病院 北海道のプログラム責任者の会の代表）を中心に企画されました。

2人のプログラム責任者（または代理）と企画側1人が札幌市手稲区の手稲家庭医療クリニックを訪れ、3時間にわたりプログラム責任者の小嶋一先生がお相手下さいました。サイトビジットでなければ話すことのできない、プログラムの運営やレジデント教育の難しさを深くディスカッションすることができました。学びが多かったと同時に他のプログラムも自分たちと同様苦勞が絶えないことを知り癒やされる思いもしました。

(この項山田康介副支部長 一部木村改変)



3. 第1回ポートフォリオ検討会を行ないました (11月30日日曜日 旧札幌代々木ゼミナール)

これも木佐健悟先生が中心になり企画されました。3人のタスクフォース、6人の後期研修医、2人のオブザーバーが参加しました。オリエンテーションのあと、ポートフォリオ作成についてのレクチャーを上川医療センターの安藤高志先生が行ない、その後6人がポートフォリオを発表し、検討が加えられ活発な討論が行われました。



4. 『北海道地域医療ウィンターキャンプ2015 in 朱鞠内』を開催します！

別添のチラシのごとく、来年3月13日（金）から二泊三日で医学生向け地域医療キャンプを幌加内町朱鞠内で行ないます。地域医療、プライマリ・ケアに興味がおありの学生さんは奮ってご参加下さい！参加費5000円（交通費込）。北大、札幌医大、旭川医大、自治医大の学生が対象です。深川駅、旭川からバスでの送迎を予定しています。